

梅崎さん馬事文化賞

「非武」の琉球競馬紹介

日本中央競馬会(JRA)は7日、2013年度「消えた琉球競馬」の著者



梅崎晴光さん

JRA賞馬事文化賞に琉球の競馬文化の歴史を掘り起したノンフィクション「消えた琉球競馬」の著者・梅崎晴光さんを選出した。梅崎さんは「歴史に眠る琉球競馬を何とかして明らかにしたかった。受賞は琉球文化の力がもたらしたものだ」と受賞を喜んでい

る。

梅崎さんはスポーツニッポン東京本社に勤める競馬担当の専門記者。速さや力強さを競う近代競馬と一線を画し、走る美しさに価値を置く琉球競馬「ンマハラ



「消えた琉球競馬」

セー」に魅せられ、約3年にわたる調査をまとめて12年11月に「消えた琉球競馬」を著した。

JRAは同書について「琉球競馬の歴史を可能な限り克明に再現した貴重な記録」と評価している。

梅崎さんは「一般的に軍馬をつくるために競馬は生まれ、強さや速さが求められてきた。琉球競馬はこうした軍事力とは縁のない

『非武』の競馬だった」と指摘。「一介の競馬記者の立場から、沖縄の『非武』の文化を伝えたかった」と著書への思いを語る。

また、昨年からは沖縄市の沖繩こども国でンマハラセーが開かれていることに触れ、「年を重ねればもっと美しい琉球競馬がよみがえると思う。3月にも開かれるので、ぜひ応援してほしい」と語った。